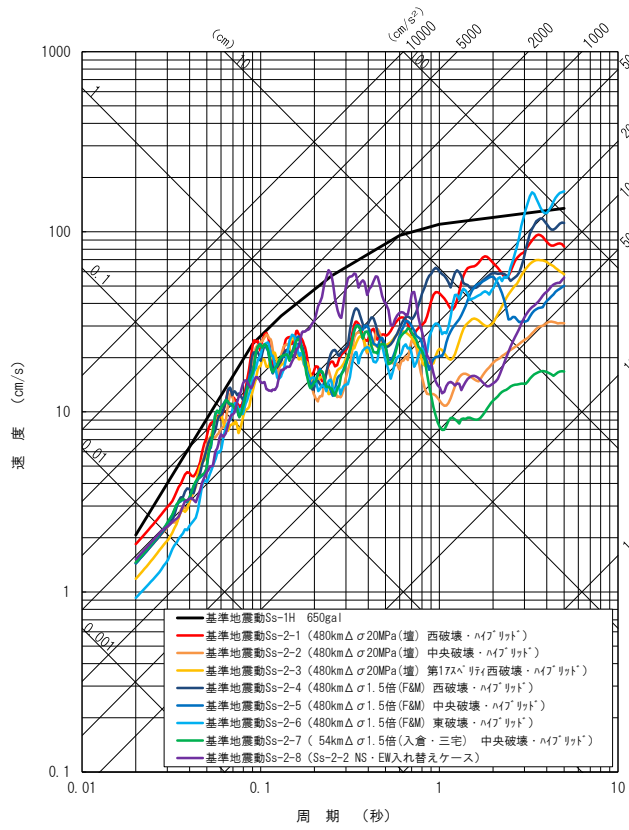


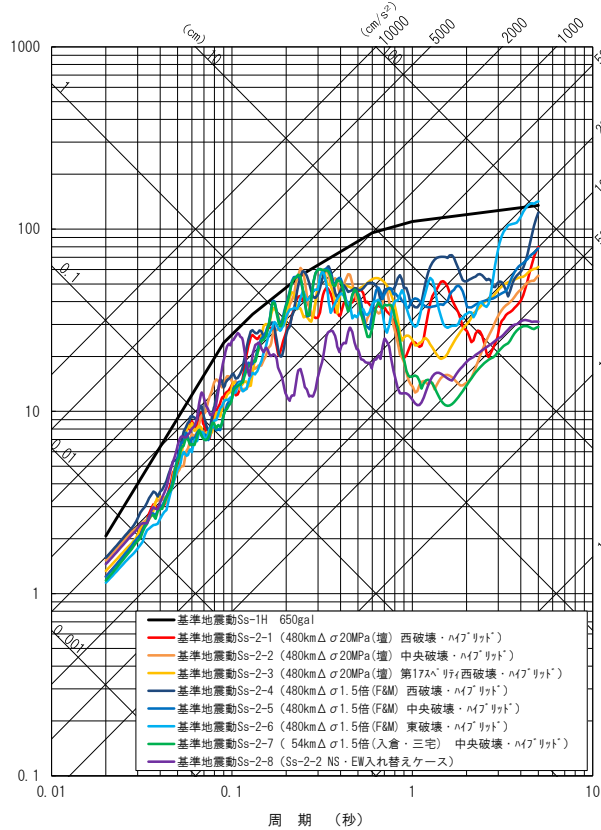
伊方発電所における基準地震動11波(Ss-1、Ss-2(8波)、Ss-3(2波))の最大加速度振幅

基準地震動Ss				最大加速度振幅(cm/s ²)	
震源を特定して策定する地震動	応答スペクトルに基づく手法	設計用模擬地震波	水平動	Ss-1H	650
			鉛直動	Ss-1V	377
	断層モデルを用いた手法	敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 480km連動・壇の手法・ $\Delta\sigma$ 20MPa・西破壊	水平動NS	Ss-2-1NS	579
			水平動EW	Ss-2-1EW	390
			鉛直動UD	Ss-2-1UD	210
			水平動NS	Ss-2-2NS	456
		敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 480km連動・壇の手法・ $\Delta\sigma$ 20MPa・中央破壊	水平動EW	Ss-2-2EW	478
			鉛直動UD	Ss-2-2UD	195
		敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 480km連動・壇の手法・ $\Delta\sigma$ 20MPa・第1アスベリティ西破壊	水平動NS	Ss-2-3NS	371
			水平動EW	Ss-2-3EW	418
			鉛直動UD	Ss-2-3UD	263
		敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 480km連動・F&Mの手法・ $\Delta\sigma$ 1.5倍・西破壊	水平動NS	Ss-2-4NS	452
	水平動EW		Ss-2-4EW	494	
	鉛直動UD		Ss-2-4UD	280	
	敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 480km連動・F&Mの手法・ $\Delta\sigma$ 1.5倍・中央破壊	水平動NS	Ss-2-5NS	452	
		水平動EW	Ss-2-5EW	388	
		鉛直動UD	Ss-2-5UD	199	
	敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 480km連動・F&Mの手法・ $\Delta\sigma$ 1.5倍・東破壊	水平動NS	Ss-2-6NS	291	
		水平動EW	Ss-2-6EW	360	
		鉛直動UD	Ss-2-6UD	201	
敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 54km・入倉・三宅の手法・ $\Delta\sigma$ 1.5倍・中央破壊	水平動NS	Ss-2-7NS	458		
	水平動EW	Ss-2-7EW	371		
	鉛直動UD	Ss-2-7UD	178		
敷地前面海域の断層群(中央構造線断層帯) 480km連動・壇の手法・ $\Delta\sigma$ 20MPa・中央破壊・入れ替え	水平動NS	Ss-2-8NS	478		
	水平動EW	Ss-2-8EW	456		
	鉛直動UD	Ss-2-8UD	195		
震源を特定せず策定する地震動		2004年北海道留萌支庁南部の地震 基盤地震動の基準化波	水平動	Ss-3-1H	620
			鉛直動	Ss-3-1V	320
		2000年鳥取県西部地震 賀祥ダム(監査廊)の観測記録	水平動NS	Ss-3-2NS	528
			水平動EW	Ss-3-2EW	531
		鉛直動UD	Ss-3-2UD	485	

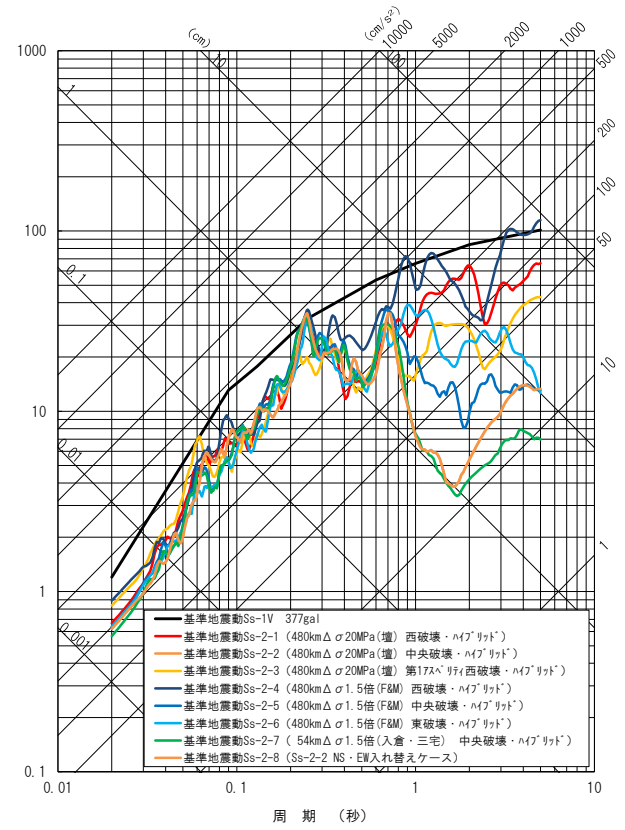
伊方発電所における基準地震動 Ss-1 と Ss-2 (8波)



水平(NS(南北))方向

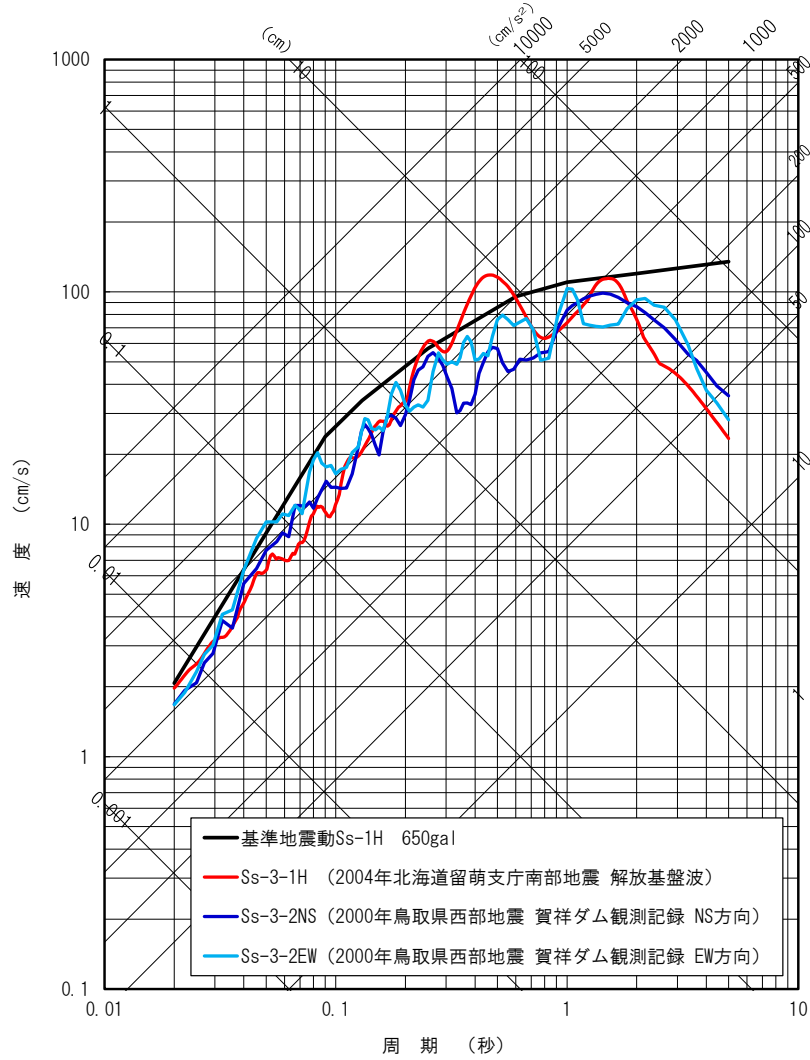


水平(EW(東西))方向

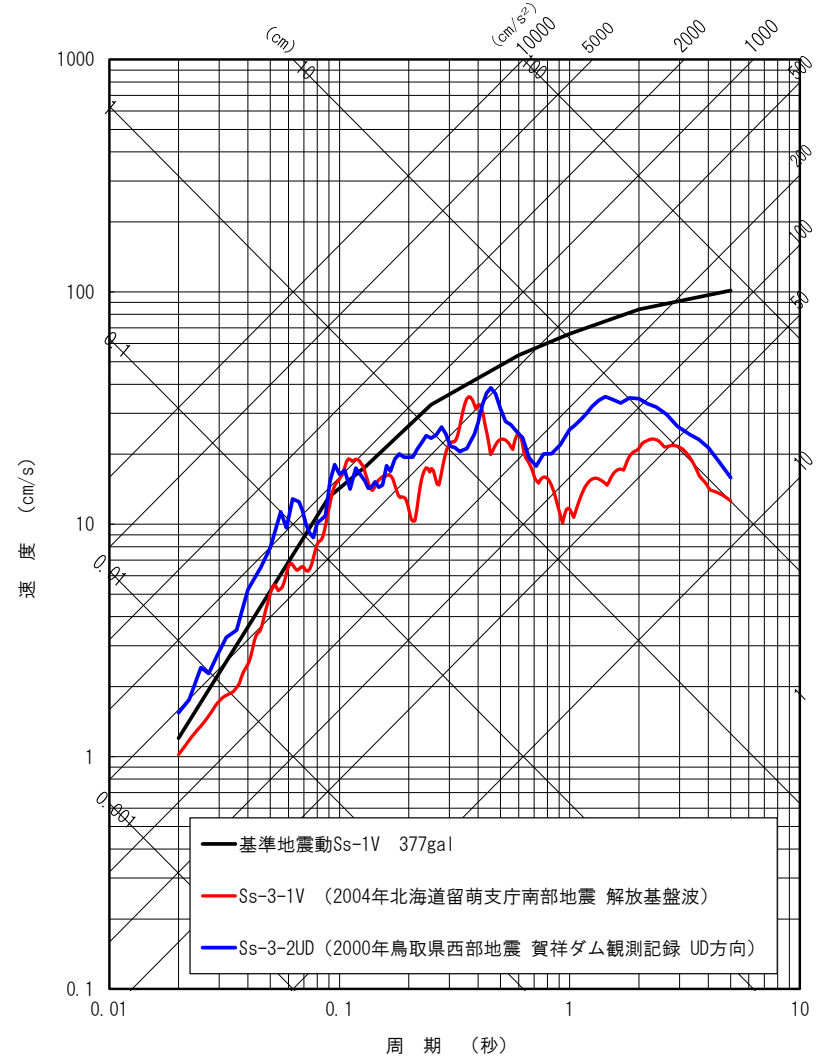


鉛直(UD)方向

伊方発電所における基準地震動 Ss-1 と Ss-3 (2波)

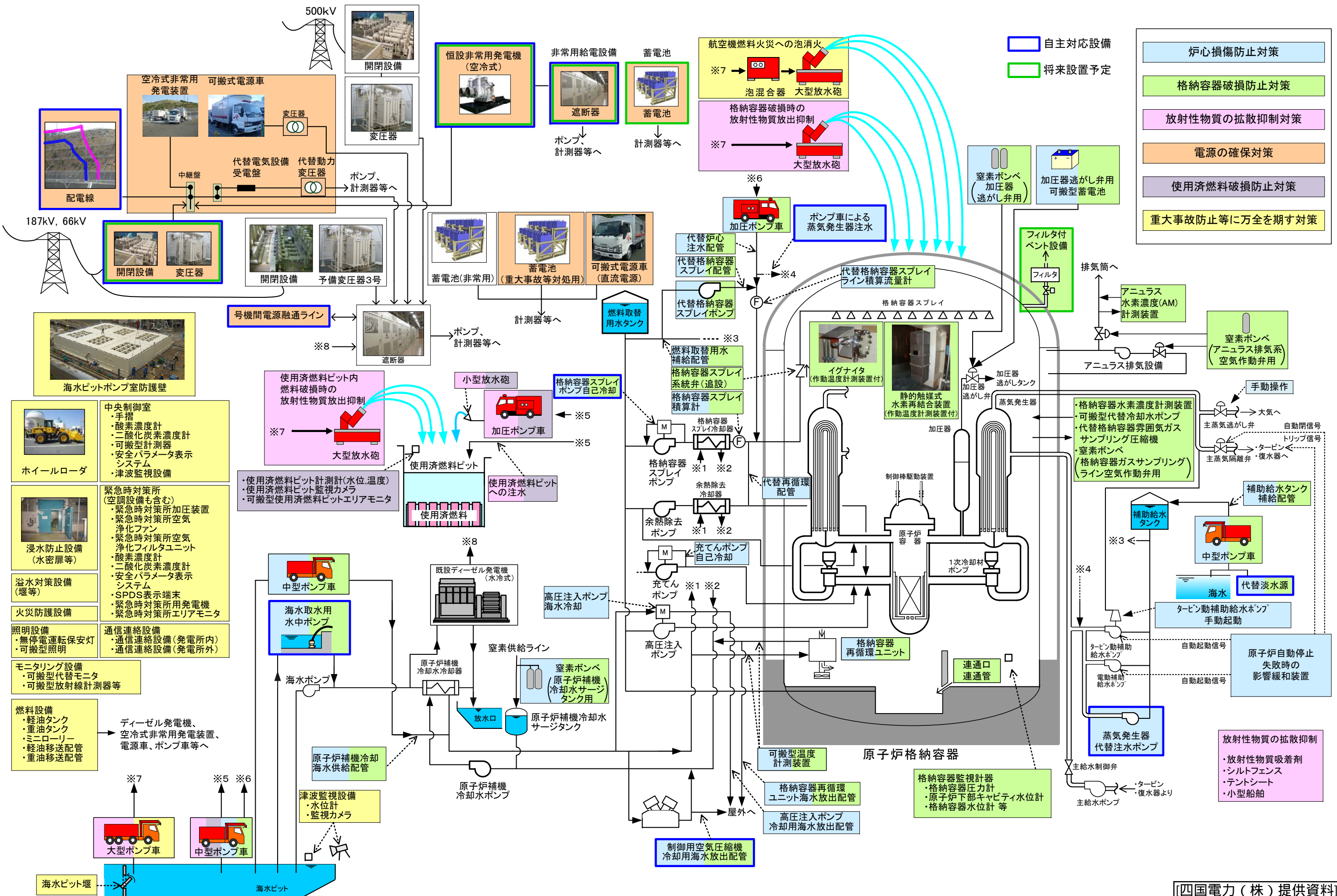


水平方向



鉛直方向

伊方発電所3号機の新規制基準への適合性に係る設備の全体像



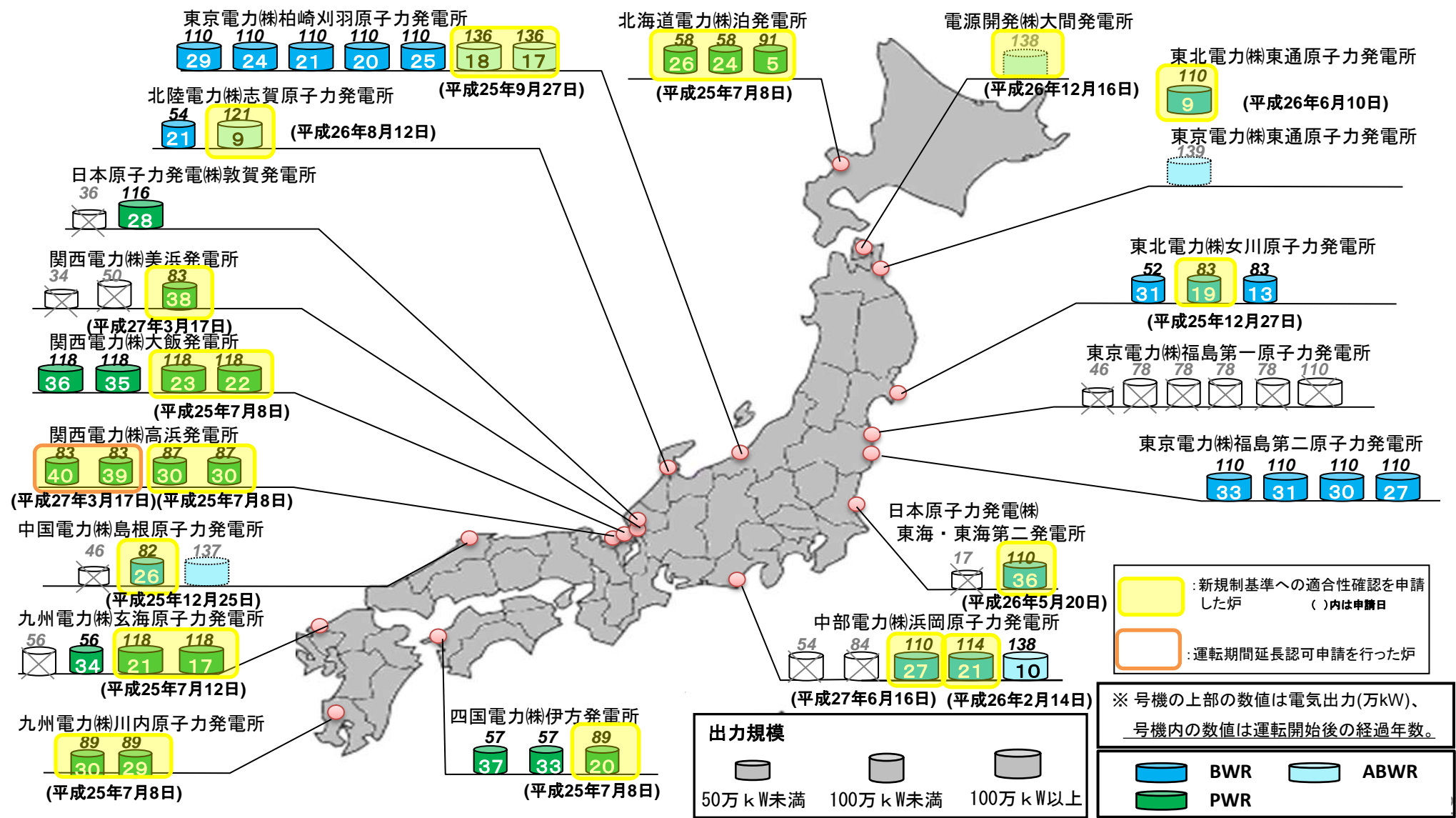
自主対応設備
将来設置予定

- 炉心損傷防止対策
- 格納容器破損防止対策
- 放射性物質の拡散抑制対策
- 電源の確保対策
- 使用済燃料破損防止対策
- 重大事故防止等に万全を期す対策

- 中央制御室**
 - 手摺
 - 酸素濃度計
 - 二酸化炭素濃度計
 - 可搬型計測器
 - 安全パラメータ表示システム
 - 津波監視設備
- ホイールローダ**
- 緊急時対策所 (空調設備も含む)**
 - 緊急時対策所加圧装置
 - 緊急時対策所空気浄化ファン
 - 緊急時対策所空気浄化フィルタユニット
 - 酸素濃度計
 - 二酸化炭素濃度計
 - 安全パラメータ表示システム
 - SPDS表示端末
 - 緊急時対策所用発電機
 - 緊急時対策所エリアモナ
- 浸水防止設備 (水密扉等)**
- 溢水対策設備 (堰等)**
- 火災防護設備**
- 照明設備**
 - 無停電運転保安灯
 - 可搬型照明
- 通信連絡設備**
 - 通信連絡設備(発電所内)
 - 通信連絡設備(発電所外)
- モニタリング設備**
 - 可搬型代替モニタ
 - 可搬型放射線計測器等
- 燃料設備**
 - 軽油タンク
 - 重油タンク
 - ミニローリー
 - 軽油移送配管
 - 重油移送配管

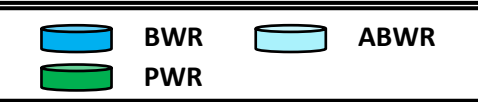
全国の原子力発電所 / 再稼働申請状況 (H27.6.26時点)
 (出典：資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会原子力小委員会第12回会合資料)

- 本年4月末、**高経年炉5基**(敦賀1号機、美浜1号機・2号機、島根1号機、玄海1号機)**が運転終了**。**2基**(高浜1号機・2号機)は、**運転期間延長認可が申請**された。
- 同6月16日、**浜岡3号機が新規規制基準への適合性確認を申請**。これにより、**計15原発25基が申請済**となった。



: 新規規制基準への適合性確認を申請した炉 ()内は申請日
 : 運転期間延長認可申請を行った炉

※ 号機の上部の数値は電気出力(万kW)、号機内の数値は運転開始後の経過年数。



過去の日本の主要な地震の最大加速度

地震名	都道府県	観測点名	震度	計測震度	最大加速度 (gal=cm/s ²)				震央距離 (km)	出典
					3成分合成	南北	東西	上下		
平成7年(1995年)兵庫県南部地震 (1995年1月17日05時46分 北緯34度35.9分 東経135度02.1分 深さ16km M7.3)	兵庫県	神戸中央区中山手	6	—	891	818	617.3	332.2	16.5	気象庁HP 主な地震の強震観測データ
平成16年(2004年)新潟県中越地震 (2004年10月23日17時56分 北緯37度17.5分 東経138度52.0分 深さ13km M6.8)	新潟県	川口町川口	7	6.5	1722	1141.9	1675.8	869.6	2.8	気象庁HP 主な地震の強震観測データ
平成16年(2004年)新潟県中越地震(最大余震) (2004年10月23日18時34分 M6.5)	新潟県	川口町川口	6強	6.2	2515.4	1639.9	2035.6	548.5	7.3	気象庁 災害時自然現象報告書2004年第7号 災害時地震速報 平成16年(2004年)新潟県中越地震
平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震 (2008年6月14日08時43分 北緯39度03分 東経140度88分 深さ8km M7.2)	岩手県	一関西	—	6.3	4022	1143	1433	3866	3	防災科学技術研究所HP K-NETまたはKiK-netで震度5弱相当以上 が観測された地震のリスト
平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 (2011年3月11日14時46分 北緯38度1分 東経142度9分 深さ24km M9.0)	宮城県	築館	—	6.6	2933	2700	1268	1880	175	防災科学技術研究所HP K-NETまたはKiK-netで震度5弱相当以上 が観測された地震のリスト

[上記出典より高知県作成]

電力需給状況の推移（四国・全国）

○四国電力

	H24 夏季	H24 冬季	H25 夏季	H25 冬季	H26 夏季	H26 冬季	H27 夏季 (見込み)
供給力 (万 kW)	603	524	577	529	572	535	611
最大需要 (万 kW)	526	477	549	487	526	503	549
予備力 (万 kW)	77	47	27	41	46	32	62
予備率 (%)	14.6	9.8	5.0	8.5	8.8	6.3	11.2

※四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある

○全国 9 電力（沖縄電力を除いた大手 9 電力の合計）

	H24 夏季	H24 冬季	H25 夏季	H25 冬季	H26 夏季	H26 冬季	H27 夏季 (見込み)
供給力 (万 kW)	17,090	16,123	17,206	16,410	17,048	16,538	17,359
最大需要 (万 kW)	15,743	14,757	16,125	15,246	15,545	14,958	16,260
予備力 (万 kW)	1,347	1,367	1,080	1,164	1,503	1,578	1,099
予備率 (%)	8.6	9.3	6.7	7.6	9.7	10.5	6.8

※四捨五入の関係で合計等が合わない場合がある

四国電力の発電設備

◇原子力

発電所名	号機	出力 (万kw)	運転開始 年月	運転開始後年数	備 考
				H26年度末	
伊方	1	56.6	1977/9	37	
	2	56.6	1982/3	33	
	3	89	1994/12	20	

◇火力

発電所名	号機	出力 (万kw)	主な燃種	運転開始 年月	運転開始後年数	備 考
					H26年度末	
阿南	1	12.5	石油	1963/7	51	長期計画停止中
	2	22	石油	1969/1	46	2011/9運転再開
	3	45	石油	1975/8	39	
	4	45	石油	1976/12	38	
橘湾		70	石炭	2000/6	14	
西条	1	15.6	石炭	1965/11	49	
	2	25	石炭	1970/6	44	1984/1ボイラのみ更新 (経年31年)
坂出	1	29.6	LNGCC	2010/8	4	2010/8にLNGCCに転換
	2	35	石油	1972/5	42	2016/8にLNGCCに転換予定
	3	45	石油	1973/4	41	
	4	35	LNG(従来型)	1974/5	40	

◇水力

	発電所名	最大出力 (kw)	運転開始
徳島県	蔭平1号	46,500	1968/5
	蔭平2号	150	2010/4
	広野	35,700	1960/5
	松尾川第一	20,800	1953/10
	松尾川第二	21,400	1953/10
	池田	5,000	1975/5
	名頃	1,300	1961/3
	祖谷	6,300	1923/4
	高野	5,200	1954/1
	出合	9,500	1926/10
	一字	8,700	1936/1
	三縄	7,000	1959/4
	白川	400	1922/8
	伊予川	3,100	1947/8
	切越	4,500	1931/12
吉良	2,700	1925/11	

	発電所名	最大出力 (kw)	運転開始
愛媛県	面河第一	7,000	1928/3
	面河第二	1,600	1940/4
	面河第三	22,000	1984/6
	第五黒川	5,500	1951/6
	小村	2,900	1943/5
	柳谷	23,800	1989/6
	湯山	3,400	1957/9
	鈍川	800	1920/5
	横林	5,000	1958/3
	船渡	520	1926/10
	惣川	1,130	1924/12
加茂	1,700	1914/2	

	発電所名	最大出力 (kw)	運転開始
高知県	吉良川	256	1922/7
	名村川	420	1913/7
	伊尾木川	7,700	1954/3
	鏡川	3,300	1966/11
	新改	9,300	1963/4
	天神	11,800	1978/7
	穴内川	12,500	1964/7
	東豊永	6,500	1924/12
	大田口	1,500	1965/1
	平山	44,400	1963/4
	長沢	5,200	1949/4
	大橋	5,500	1939/12
	大森川	12,200	1959/8
	本川	615,000	1982/6
	分水第一	26,600	1940/3
	分水第二	7,800	1941/4
	分水第三	10,900	1941/7
	分水第四	8,100	1950/1
	大渡	33,000	1981/8
	名野川	1,200	1924/11
	加枝	9,700	1941/11
	土居川	1,400	1921/10
	仁淀川第三	10,000	1958/8
	岩屋川	1,800	1930/4
	梶原川第一	1,550	1939/7
	梶原川第二	6,000	1937/2
	梶原川第三	2,800	1930/12
松葉川	320	1925/12	
津賀1、2号	18,100	1944/4	
津賀3号	550	1998/4	
佐賀	15,700	1937/12	
坂本	1,100	2000/8	

◇再生可能エネルギー

	発電所名	最大出力 (kw)	運転開始
愛媛県	松山太陽光	2042	1996/3

[四国電力(株)提供データより作成]